

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度			
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	01 やさしさあふれるまちづくり
	小項目	施策	03 障害者(児)福祉
事務事業名		21	市民ふれあい福祉まつり事業
		根拠法令・例規等	
		問合先	担当課(室) 社会福祉課
		職・氏名	障害者福祉係長 山本光男
		電話	0869-64-1824

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	市内外を問わず、誰でも参加できる。
目的(何のために)	障害者や高齢者を含む誰もが社会参加できる福祉のまちづくりの推進する。
行政活動(どのような方法で)	市民ふれあい福祉まつりを開催し、募集した啓発ポスターや標語の表彰を行うとともに、障害者等がバザー、模擬店を出展することにより社会参加できるための交流の場を提供する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市民ふれあい福祉まつりに参加した人たちが一日楽しく過ごせるイベントにするとともに、障害者の方の社会参加の推進に少しでも寄与したい。

事業の実績				
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
参加者数	人	2,000	2,000	2,000
参加団体数	団体	25	22	21
テント村出店数	張	15	16	15
事業費	千円	3,575	2,624	1,994
必要人員	人	0.30人	0.20人	0.14人
事業費	千円	3,575	2,624	1,994
国・県支出金	千円		439	394
受益者負担金	千円			
市債	千円			
その他	千円			
一般財源	千円	3,575	2,185	1,600
受益者負担比率	%			

結果指標①				
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
参加者数	人	2,000	2,000	2,000
対前年比	%		100.0%	100.0%
活動コスト	円	3,575,000	2,624,000	1,994,000
単位当たりコスト	円	1,788	1,312	997
結果指標②				
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
参加団体数	団体	25	22	21
対前年比	%		88.0%	95.5%
活動コスト	円	3,575,000	2,624,000	1,994,000
単位当たりコスト	円	143,000	119,273	94,952

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
市民ふれあい福祉まつり参加者数	目標値(A)			2100	2200
	実績値(B)	2000	2000	2000	到達目標年度
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	95.2%	22年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
市民ふれあい福祉まつりの参加者を増やしていきたい					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	年齢、障害の有無に関わらず誰でも気軽に参加できる場所を提供する。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託金)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> C 判定理由・課題認識 年々事業予算が減少しており、限られた予算の中で参加者に楽しんでもらえる事業内容を検討する必要がある。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E> B 判定理由・課題認識 たくさんの人たちが参加する市民ふれあい福祉まつりを楽しいものにするともに、さらに多くの人に参加してもらえるまつりになるよう検討したい。

平成21年度の状況		2,200		結果指標量② 21		成果指標量 2,200	
目標値	結果指標量①	2,200		21		2,200	
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	こども応援フェスタと同日開催を予定しており、経費の削減を図るとともにより多くの参加者を見込んでいる。						

総合評価		評価区分<A~E>
前年度程度の参加者があり、多くの団体等の協力により盛大なまつりになりつつある。今後さらに多くの人たちに参加してもらえるまつりとなるよう、事業内容を検討していきたい。		B 

平成22年度以降の方向性・内容		2022年度以降の方向性・内容	
方向性	拡充	現状継続	見直し
説明	事業内容を見直し、実施していきたい。		
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期
	効率性	イベント内容の検討	22年度
改善により期待される効果			
障害者や高齢者を含む多くの参加者に、楽しんでもらえるまつりとなる。			